

～巻頭言～

## 「私を食べて生きよ」

「さあ来て、朝の食事をしなさい」と言われた。（ヨハネ 2 1 章 1 2 節）

最後の晩餐の夜イエス様はパンを裂き、杯を回して「これはあなたがたのために裂かれるわたしのからだ、わたしの血」と言われました。弟子達を残して行かねばならない痛みの中で、イエス様はただ教えを伝えたのではなく「わたしを食べて生きよ」と、ご自分の命そのものを彼らの内に分け与えられました。弟子たちへの深い愛の備えでした。

そして復活の後も意気消沈した弟子にパンを裂いて与え、立ち上がる力を与えられました。ガリラヤ湖のほとり、疲れ果てた弟子達を岸边で待っておられたイエス様は、炭火を起こして、一つのパンと魚を用意した朝食に招かれました。まさに最後の晩餐で語られた「私を食べて生きよ」が、復活後実現した瞬間でした。イエス様はいつも弟子たちを責めるためではなく、命と力をもう一度与え「厳しい現実を生き抜きなさい、大丈夫、私と一緒に生きて行こう」と、待っておられたのです。

世界は混沌に満ちています。しかし、揺れる小船の岸边には今も復活の主が立っておられます。「わたしを食べて、わたしの命で生きなさい」と招いておられます。

牧師 大月 康子



### 感動の音楽礼拝！



3月22日(日)は、日本を代表するフルート奏者で音楽伝道師でもあられる紫園香(しおん かおり)先生をお招きしての「音楽礼拝」でした。

大月康子牧師の説教の前に、讃美歌「ガリラヤの風がおる丘で」、「You raise me up」に続いて、ご自身が40年前のイースターに洗礼をうけることになったいきさつを証しされ、「すべてあなたに～柳瀬佐和子作」を演奏されて前半を終了。聖書朗読(ルカ23:32～38, ヨハネ19:34)に続いて大月牧師より「十字架から流れ出る赦しと癒し」と題してメッセージが語られました。

後半の演奏は、星野富弘さんの「証し(体験談)」をもとにした朗読付きの合唱組曲「いのちより大切なもの～土井康司」から3曲独唱され、最後にフルートによる讃美歌「やすけさは川のごとく」で終わりました。(裏面へ続く)

(おもて面から続き)礼拝後にアンコールとして、「ガブリエルのオーボエ」を“教会への応援歌として”と、前置きされ高らかに演奏くださって、会衆から感謝の大きな拍手がおくられました。

この日は、N.O.姉のパイプオルガンによる会衆賛美とも相まって、音響を意図した会堂設計の効果が最大化された音楽礼拝だったと思いました。(出席32名)

～右写真:大月康子牧師と～



紫園香師プロフィールより/ 日本を代表するフルート奏者として長年国際舞台で活躍。東京芸術大学・同大学院を首席で卒業。キリストの平和教会音楽伝道師。著書3冊、CD17枚を発売中。

音楽礼拝の感想

その日は比較的早く教会に到着。教会に入る前からフルートの～ガリラヤの風薫る丘で～の讃美歌が聴こえてきた。なんと素晴らしい！心がゆったりした気分になった。会堂に入るとまだまだ礼拝式には早いのに紫園師のリハーサルが続いていた。管楽器ゆえ冷えると音に影響があるらしく温度差に鋭敏だった。生のフルート演奏は初めてで、特に讃美歌は心を洗われるような、くしくも受難節神のみ声を聞くようでした。輝かしい経歴の師にも神に出会われた証そして最後は麗しき声、声量が大で歌を披露された。この会を催して下さった方々に感謝です。音楽伝道によって多くの人が救われるよう祈ってやみません。(K.E.)

世界祈禱日



2026年3月6日に岡山市西大寺にある日本キリスト教団旭東教会で世界祈禱日の集會が実施され、今年には貧困とジェンダー不平等に苦しむアフリカの国ナイジェリアからのメッセージが、遠く離れた私たちの住む日本に届けられました。

はじめに讃美歌 21 43-3 マナラ・タ「主よ、おいでください」が力強く賛美され、集會がはじまりました。参加した教会の代表者が次々と読み上げたのは、間で歌われたナイジェリアの讃美歌「重荷にあえぎ」「心よわりはて」のタイトルにも表れているとおり、重く息を飲むようなメッセージの数々で、私たちはナイジェリアの姉妹たちが、今なおお苦しみの中でイエス様を求める姿をすぐ隣に感じずにはいられませんでした。

旭東教会の森牧師のメッセージにも力を得て、集った岡山市内の9教会、48名の兄弟姉妹の思いが祈りの声に自然と加わり、この祈りが届いてほしいという願いが満ちてひとつになるなか、集會は約1時間余りで幕を閉じました。(I.S.)



日本基督教団 旭東教会会堂～S 姉提供

次回の世界祈禱日は2027年3月5日(金)  
会場は日本基督教団 岡山教会です。

讃美歌21 43-3 「主よ、おいでください」

- ① 主よ、おいでください。クムバーヤーマイロードクムバーヤー、主よ、おいでください。おお、主よ、クムバーヤー。
- ② 泣いている人がいます、～～。 ③ 祈っている人がいます、～～。 ④ 歌っている人がいます、～～。

※ kum ba yah, my Lord (クムバーヤー、マイロード)は、「主よ、ここに来てください」の意味

# 新しい出発にエールを!

この度、無事に高校を卒業しました。

S. M.

本当に3年間は大変でした。地元の学区から一気に8キロくらい田舎に飛ぶんですから。しかも自転車通〜。この通学事情がとてとてもキツくて道中岡北とかのキツイ橋三つあったり、超絶狭い田んぼの畦道(?)を通ったり複雑な住宅街を超スピードで駆け抜けたりと、サバイバルな通学路でした。かなり遠い上に学校側の門限厳しいしので、多少の寝坊でも命取りになりかねない絶望的な朝の連続でしたが、何とか三年間、辛うじてノーミス突破出来た事はある種の誇りのように感じます。この3年間身につけた忍耐と健康を糧にこれからも頑張っていきます。いつも僕の為に祈って下さりありがとうございました。春からは大学生になります。

2025年度臨時教会総会終わりました。



3月1日(日)礼拝後、2年ごとに開催される臨時教会総会が11:55~13:40に行なわれました。A会員34名のうち、出席14名、委任状18名、欠席2名によって総会成立。議長・大月牧師の議事進行により、1号~4号議案は以下のように決まりました。

新年度責任役員：青木恵美子師(教会会計担当)、I.S.姉(教会書記担当)。

新年度役員：M.M.姉(女性会長)、K.E.姉(選出)・S.M.姉(選出)・A.Y.姉(選出)。

教会の個人情報の扱いについて大きな変更です。2026年度教会総会資料では個人情報掲載を控え、必要な場合にのみ名簿を配布・回収することになりました。

お祈りください。

A. Y.

4月から10月まで半年間、資格を取るために大阪へ通うことになりました。修了まで健康で通えることを皆さんの日々のお祈りの中に加えていただければ幸いです。



## 本の紹介

~本の画像は出版社許諾済み~



『神様は、私たちに私たちの真の願いを知らせ、私たちが聖霊に満たし、その実現のために私たちが自ら進んで行かれるように導かれるのです。』  
(本書より帯書き)

音楽伝道師・紫園香先生を当教会につかわして下さったキリストの平和教会牧師・岩本遠億(エノク)先生の著書。(ヨベル出版 2023年刊 1200円+税)  
音楽礼拝の前週、岩本先生から御著書「366日元気が出る聖書のことば」が30冊、当教会に贈呈されました。皆で毎日、聖書のメッセージに導かれましょう。

## 映画の紹介 劇場公開3月27日!

☆長編アニメ「キング・オブ・キングス」  
チャールズ・ディケンズ著「主イエスの生涯」にインスピレーションを受け、韓国のチャン・ソンホ監督がハリウッドなどの俳優たちを声優に迎えて制作したアニメ。ディケンズがわが子のために執筆したイエス・キリストの物語を幼い息子に読み聞かせる設定で、イエスの誕生から復活までが描かれる。必見!!